

砕石場の安全確保のために 特別パトロールを実施

ACTIVE KUMIAI

山梨県山砕石事業協同組合

10月15日、山梨県山砕石事業協同組合(千野進理事長)は、組合員企業の砕石場の特別パトロールを実施した。

特別パトロールは、過去、砕石現場において岩石掘削中に地山崩壊による事故が発生、これをきっかけとして昭和63年以降、学識経験者や許認可権者の指導・助言を押し、法令遵

守の基に、組合員各社の砕石場の安全管理及び砕掘技術の向上を目的として、毎年春・秋の2回実施、今日まで組合員事業所において無事故・無災害が継続されており、非常に高い効果をあげている。

今回の特別パトロールは、組合の生産・安全委員会(荒井義信理事・委員長)が中心となり、学識経験者として山梨大学大学院医学工学総合研究部教授 工学博士の村上幸利氏、採石に関する許認可権者としての立場から山梨県森林環境部森林整備課 林地保全・採石担当者も参加。都留市内に現場を持つ、第一石産運輸株式会社及び有限会社上田屋商会を対象に行い、一断面の砕掘高・勾配・事業区域における作業場と外部との境の距離などの「砕掘状況」、堆積場の規模や管理状況・緑化対策などの「廃土石処理の状況」、排水路・沈殿池・場内水の処理方法など「汚濁水の処理状況」、製品の堆積状況・粉塵・飛石・騒音などを防止する「災害防止施設等の設置状況」など約20項目に渡る調査を実施した。



細かな調査が行われ安全が確保されている

現場での確認に加え、関係書類や現場の職員等への聞き取り調査を行うことで、各社の安全への取組が一層強力に行われる効果が生まれる。「慣れが一番の危険因子であることから、組合の定期的なパトロールでこれをつみ取ることができれば幸い」と小菅三郎専務理事は語っている。



緑化対策を行い、元の山に戻す